

第一位 韓国と日本人

イ ギョンミン

(韓国カトリック大学校言語文化学部日語・日本文化専攻3年)

韓国人と日本人は、隣の国ということもあり、西洋人からは同じように見えると思います。しかし、私たちはその違いをよく知っています。まず、外見のな違いから考えたいと思います。

日本人よりも韓国人のほうが美人が多いと言われています。これは日本人も認めていることです。性格的なことにもなるのですが、日本人は個人的な性格を持っています。服や化粧も、みんながきれいだと認めるものもあれば、信じられないようなスタイルもあるのです。たとえば、顔を黒くして、目のまわりを白くする化粧の人がいました。彼女たちは、それが一番かわいいと思っています。もちろん、まわりの日本人はみんな変だと思っていますが、他人のことなので、気にしません。韓国で、そんな化粧をした女の子がいたら、どうなるでしょうか。たぶんまわりの人たちに、「変だからやめなさい。」と言われるでしょう。その前に、まわりの人目が気になるので、そういう変なことにはしません。こんなことを言うと、「日本人は自分以外のことは気にしない、礼儀のない人たちだ。」と思われるかもしれません。しかし、日本も昔は韓国と同じように、礼儀を重要なことだと考え、もっとまわりを気にする文化でした。それが、西洋の文化がたくさん入ってきて、変わっていったのです。

外見のなことは、ほかの国の影響などで変わってきますが、内面的な違いについてはどうでしょうか。

日本人と親しくなっていくつも感じることは、「日本人ははっきりしない。」ということです。日本人と食事に行くと、「何が食べたいですか。」と聞くと、ほとんどの人は、「何でもいいです。」と答えます。「日本食がいいですか、韓国料理がいいですか。」と聞いてもまた、「どっちでもいいですよ。」と言います。こんなにはっきりしない性格は本当に嫌いです。しかし、それにはちゃんと理由があるのです。それは、相手のことを気にしてしまうからです。たとえば、「私は寿司が食べたいです。」と言って、も

し相手が寿司が嫌いだったら悪いな、と考えるのです。

日本人は、はっきりしないで相手と距離を作ります。そして、少しずつその距離を小さくして行って、良い関係にしようと思っているのです。反対に韓国人は、とてもはっきりしています。人に対しては距離を作りません。距離が近ければ、良い関係になるからです。だから、日本人が理解できないという人が多いかもしれません。しかし、相手と距離を作ることが日本人の礼儀なのです。

日本人は、なかなか自分のことを話しません。「私が外国人だから話さないのか。」と思っていましたが、実は日本人同士でも、自分のことはあまり話さないのです。もちろん少しずつ関係が良くなれば自分のことを話すようになりますが、最初は距離を作るので話しません。韓国人は、早く良い関係になりたいと考えるので、最初から自分のことを良く話します。そして、男の子とか女の子同士だと体をさわったり、手をつないだりします。そんな韓国人を見ると日本人は、「気持悪いな。」と思うようです。姿はだいたい同じなのに内面がぜんぜん違うから、驚いてしまうのです。お互いをもっと理解することが必要です。

国が違えば、文化や習慣も違います。韓国の常識が、他の国にとっては違うかもしれません。だから、「日本人は変だな。」と、ただ思うのではなく、なぜ韓国人と違うのか、よく考えてみるのが大切です。もちろん、日本人も韓国人について良く考えるべきです。そうすれば、もっと良い関係になるはずです。だから、一緒にがんばりましょう！

ご清聴ありがとうございました。

第二位 外国人と上手に対話するために必要なもの

ジョン ビョンヒ

(韓国カトリック大学校言語文化学部日語・日本文化専攻1年)

皆さんのなかでこれまで外国人と話してみる機会が一度もなかった方いらっしゃいますか。

そうですね。韓国では1988年のソウルオリンピック以後、世界化のブームが起き今ではほかの国に行かなくても外国人と多くの場面で交流することができるようになりました。このような多くの出合いの中でいちばん重要なものは意思の疎通です。どれだけ多く会ったと言っても言語的な交流なしには外国人と外国の文化を理解するこ

とは限られてしまうからです。だから人々は外国語を習って外国人と対話しようとしています。

しかし長く外国語を習った人も実際に外国人と会うようになると一言も話せずにごずぐずする場合があります。私もそのような場合があります。3年前にお婆の夫が私の家に遊びに来たことがありました。お婆の夫はアメリカ人です。英語は中学校の時から学校の授業で続けて習っていましたがお婆の夫と対話することはとても難しかったです。お婆の夫が簡単な英語を使って私に話してくれましたが英語で答えることはなんとなく気恥かしかったです。誰でも一度くらいはこのような経験があると思います。道路を歩いていて外国人が道を聞いてくる時がいちばん有りふれた場合だと思えます。それでは外国人と上手に対話するために必要なものは何でしょうか。

一番重要なものは自信感です。私は話すことができるという考えです。われわれは韓国人です。韓国人が外国語を話すのが下手なことはある意味では当然のことです。外国人が韓国語をどもりがちに話してもわれわれが聞き分けて理解するように外国人もわれわれが外国語を消化しにくいと言うことを分っているでしょう。われわれが外国語を完璧に話せないからと言って変に考える人はありません。このような考えをもって無条件に挑戦してみるのです。

初めは単語が文法に合わず伝わらないかも分かりません。時には身振り手振りが必要な時もあるでしょう。けれどもそのような方法で外国人との対話を増やして見れば習うことも多くなって実力もつくようになるでしょう。

二番目は外国人と対話する準備ができた開かれた心です。時々外国人と話して見ると文化的な違いが互いにあることにびっくりする場合があります。その時にも相手の文化を変に考えるのではなくてその文化自体を受け入れることが重要です。

二番目まで準備ができたなら単語を覚えたりテープを聞きながら語彙の量を増やさなければなりません。語彙の量が増えれば表現も多様になって対話の質も高まるでしょう。対話の質が高まるということは難しい単語が使われようになると言うことではなくて状況に合った表現を自然に使用することができるようになるということです。

以上、外国人との対話に必要なことを三つ申し上げました。皆さんはこの中でいくつ準備できていますか。一つでも準備できたらミヨンドンに一度行ってみてください。そこに行けば地図を見て道を探している外国人に簡単に会うことができます。そのような外国人に"すみません"とはなして道を案内してみるのはどうですか。初めは下手でも一言二言対話が増えて行きながら少しずつ大きくなる自身を感じることができたらと思います。もちろん私もそのようにならなければならないでしょう。ありがとうございました。

第三位 大学生として必要なこと(卒業までにすべきこと)

ソン インシク

(韓国カトリック大学校言語文化学部日語・日本文化専攻3年)

日本では大学生になることにどんな意味があるのでしょうか。韓国で大学生になることは大人になることだと思われています。大学1年生になるときの年齢は数え年で20歳。韓国の成年式をする年齢なのでなおさらそう考えられています。ほとんどの学生たちは大学に入学するために一生懸命勉強します。将来のことや大学生の時にしか持つことができない自由のために。

しかし実際に大学生になってみると時間をうまく使うことができなくて悩んだりします。勉強しかないうところで勉強以外のことをあまりしたことがないせいです。突然増えた時間と自由をしばらくのあいだ持てあましてしまうのです。自分が想像していたような大学生生活を送れなくてがっかりした経験を持っている人もたぶんいるでしょう。わたしもその中の一人です。わたしは今3年生で来年は4年生になります。だからそうかもしれないですが、これまでの大学生活は後悔ばかりでした。わたしは今そのことについて一つ一つ考えてみようと思っています。なぜかといえば残りの1年を一生懸命充実したものにするためです。そのためには計画をしっかりと立てなければいけません。そうしなければ4年間の長い時間を充実したものにはできないと思います。たくさん勉強して知識を積むことも大切ですが、内面的に成長することもやはり必要だと思えます。そのためにたくさんのかたちを経験してみたいです。そうすれば考え方も広がるし考え方が広がったら、本当に私が大学4年間でやりたいことや必要なことを見つけることができると思うのです。

いつだったか「大学時代にしなければならない50のこと」という本を読みました。全部ではないけどなんとなく共感したことがありました。それでいくつか共感したことを実践しようと思いました。まず本をたくさん読むことです。本を読むと色々な考え方や、経験したことがないことを感じるすることができます。旅行もいいと思います。まだそれほど旅行をしてはいませんが私にとって旅行はたくさんのかたちを考えさせてくれるものです。国内旅行は私に精神的な安定と心の豊かさを……。国外旅行は世界をめぐる広い目を……。私は国内外の旅行を通じて外国語の必要性や人間的にもっと成長しなければならないと思いました。

またまだ私は感じたことがないのですが、大学時代には愛という感情を持つてみることも必要だと思えます。愛が分かると人生も分かると言われます。私は大学で、卒業するまでにしなければならないことが必ずしも決まってるとは思いません。人間は

みんな同じではなく一人一人特性を持っているのだからその特性によってみんなそれぞれ違ったものがあると思います。自分が考えられる基準で大切だと考え思うことを計画して忠実に実行したらそれだけでも成功だと思います。

20代はいろいろさ迷う頃だと言われています。こんなこともあんなことも考えただけではうまくいかない時期です。でも、うまくいかなくても失敗してもそれは自分のためになって役に立つことがあると思います。

信大特別賞 韓国人とは

カン ヘウオン

(韓国カトリック大学校言語文化学部日語・日本文化専攻3年)

皆さん！こんにちは。日本語の専攻の三年生のカンヘウオンと申します。どうぞよろしくをお願いします。

みなさんは韓国人はどんな人だと思ってますか。私は日本人と比べて韓国人はどんな人なのかを発表させていただきます。

この間のワールドカップはすごかったですね。ワールドカップで韓国人は世界を驚かせました。それは韓国のチームがベストフォに入ったことだけではなくて、みんな一つになって応援したことだと思っています。みんな赤い服を着て心一つに合せて応援した様子はとても感動的でした。韓国人の団結された力を見て世界の外国人たちは羨ましがっているように見えました。私も市庁の前に行きました。友人たちといっしょに赤いティシャツを着て太極旗をもって応援しましたので、その感動を感じました。

韓国人は大変な状況になればなるほど、もっと強くなるようです。先日は台風のせいで多くの被害が起きました。それでみんなでお金を少しずつ集めて水害にあった人々にきふしました。自分のことではないですが、いっしょに悲しがったり、助け合ったりしました。このようなことなどをみると、韓国人は大変なことが起きたら、みんなが一つになってお互いに助け合っているということがよくわかります。

しかし、韓国では少しでも景気が良くなりそうならば、過消費や海外旅行が増えて来ます。大変なことが起こった後で力を集めることも大切ですが、大変なことが起こる前にそれを備えることが最も重要だと思います。

ニュースで日本について聞きましたが、日本は島国なので地震がたまに起きますね。

ひんぱんな地震にもかかわらず日本が大きい被害を被らないのはいつも準備しているからではないでしょうか。建物を建てる時も地震被害を少しでも減らすための設計や建築をするということです。とてもうらやましいことです。韓国人は大変なことが近づいた後あわてて対応策を用意します。ですから、あらかじめ準備することが韓国人には一番必要だと思っています。

このように韓国人は大変なことではみんな一つになって何により強くなるということがよくわかりました。でも、大変なことが起こった後対応策を用意することより、そんなことが起こらないように準備するのが最も大切なことではないでしょうか。

どうもありがとうございました。